



台中YMCA学生ボランティア、カンボジアを訪問(撮影：A. Calderaro氏)

World YMCA NEWS

9月号



カンボジアでのオルタナティブツーリズム (アジア・太平洋YMCA同盟)



台湾YMCAから計70名の学生が、昨年の7月と今年の2月の二回にわたり、カンボジアでのオルタナティブ・ツーリズムに参加しました。この活動は、地域に寄り添い、地域の特色を生かすことで、人々の自立につながることを目指しています。また、参加した台中の学生たちは、カンボジアの文化を学び、地域社会との有意義な交流と、自分が役に立つボランティア活動をすることを目的としています。

学生たちは、ストリートチルドレン・センターを訪問し、子どもたちと遊び、歌い、食事をし、たのしく時間を過ごしました。そして孤児院で子どもたちに英語やコンピュータを教えたり、カンボジアの人々にとって主な生業となる農業と一緒に取り組み、学校の屋根や壁を建てたりと様々なボランティア活動を経験しました。

また、このツーリズムではグローバル人材の育成、異文化交流にも取り組んでいます。遺跡訪問やカルチャーナイトの開催は、双方の国の文化を理解するための貴重な機会です。海外において、その土地を違う観点から知り、地域の人々の視野に立ち理解すること、その生活の一部に溶け込むことは、絶対に忘れられない、意味のある経験になります。

「オルタナティブ・ツーリズム」は、各国、地域の観光拠点を回りながら、同時に、現地のYMCAの案内で、各地で抱えている課題と、YMCAが展開しているプロジェクトを視察・体験する機会が設けられています。

アジア・太平洋YMCA同盟 2017年5月eNewsより
<http://www.asiapacificymca.org/joomla/>



▲地域の小学校で勉強を教えています

<カンボジアYMCAゲストハウスのご紹介>

カンボジアYMCA(ゲストハウス)は、プノンペン国際空港から北西に約5kmのダイホイマーケットの近くにあります。

ゲストハウスでは、エアコン、Free Wi-fi、冷蔵庫、ホットシャワー、液晶TV、コーヒー・紅茶、ミネラルウォーター、自転車貸出などのサービスが充実しています。

シムリアップにあるYMCAのプロジェクトに訪問されてみてはいかがでしょうか。



YMCAカンボジアゲストハウス
ホームページより

<http://r.goope.jp/ymcacambodia>

「Why not?」キャンペーン実施中



オーストラリアYMCAは今年の6月20日に、カルチャー・クラブのボーイ・ジョージとタッグを組み、1987年のビレッジ・ピープルのヒット曲「Y・M・C・A」を40年の時を超えて、再現しました。YMCAは、この名曲の新たな解釈を通して、オーストラリアの若者が直面している課題に社会が目を向けることを目指しています。この曲は彼らの発言を促し、その声が社会に届くことを願って作られました。オーストラリアYMCAのCEOであるマリンド・クロール氏は、「YMCAの若者を対象に行った調査がきっかけとなり、ボーイ・ジョージによる新たな解釈によってYMCAの思いを社会に示すことにしました」とコメントしています。

(https://issuu.com/ymcaaustralia2/docs/ymca_voice_of_young_people_in_austr)

その調査結果では、オーストラリアの若者は、自分たちの声があげられず、弱い立場に置かれていることが明らかになりました。また、約四分の三が、「今の社会のリーダー達は未来の若者たちのために、最良の決断ができていない」と感じています。特に、若者の失業、同性間での結婚の権利、心の病の課題については、自分たちの声が反映されていないと主張しています。若者は、より良い未来のための、アイデア、活力、夢、そしてビジョンを持つ

ているのにも関わらず、社会的に無視されていると感じてしまうために、それらの大半が絶望へと変わってしまいます。マリンドさんは、「若者たちを勇気づけ、リーダーシップや正義、公正を獲得する手助けを、彼ら/彼女らやまたその次の世代の若者たちのためにしたいと思います」と語ります。いくつかの大きな課題の答えが、もし社会に居場所がないと感じている若者の心の中に眠っているとしたらどうでしょうか。私たちは、若者の発言を促し、その声を聞かなければなりません。

YMCAは若者たちにプラットフォームを提供するために、「Why not?」のサイトを設立しました。若者の声が社会へ届くように、彼ら/彼女らを導く標識のような役割になってくれるでしょう。



マリンド・クロール氏とボーイ・ジョージさん

オーストラリアYMCA同盟ホームページより
<https://ymca.org.au/Pages/Home.aspx>

「私たちが望むアフリカ(The Africa We Want)」 マダガスカル若者の問題への取り組み



「第四世界」という言葉を聞いたことはありますか? 「第四世界」は、様々な理由により、経済が不安定で、国民の所得水準が低く、人材育成も遂行しにくい環境に置かれている最貧国・最貧地域のことを指します。そして、マダガスカルは世界の最貧国として第五位にランクしています。マダガスカルの若者もこのことを心配していますが、社会環境が彼ら/彼女らを社会的に追い込んでいます。マダガスカルでは断続的な社会や経済の崩壊により失業率が増加しています。そして若者が学校を卒業した後、就職しても適切な環境が与えられていなかったり、最低賃金よりも安い給料で働かされています。さらに、問題はアイデンティティにも影響しており、今でも植民地時代の影響で、本来の自分らしさを保てず、マダガスカルの国民としての誇りを持っていない状況です。政治においても若者の存在は軽んじられており、いかなる決定も若者のためになされていません。アフリカYMCAの「私たちが望むアフリカ (The Africa We Want)」キャンペーンはアフリカの人々の尊厳や平和を守り、それ以上に若者がリーダーとして社会で自立できるような理想的なアフリカ

社会を求めます。このキャンペーンは、若者が社会に対して主体的になれるような方法をいくつか提案しています。その達成は若者に市民権、誇り、強さ、そして富をもたらすでしょう。マダガスカルのために、そして、アフリカのために。



若者がリーダーシップを学ぶトレーニングプログラム

アフリカYMCA同盟ホームページより
<http://www.africaymca.org/>

World
YMCA
NEWS
9月号



発行
2017年9月1日
日本YMCA同盟
03-5367-6640
info@ymcajapan.org